

VIII

学生相談窓口

- 1 学部学生の助言教員制度
- 2 学生相談室
- 3 アクセシビリティ・
コミュニケーション支援室
- 4 ハラスメント

1 学部学生の助言教員制度

本学では、全学部で1年次生より助言教員等の指導体制を設けており、履修や修学上の相談、また休学・復学あるいは退学等を含めた学生生活全般について教員に相談することができます。不明な点は、次の各学部の間合せ先へ気軽に尋ねてください。各制度の詳細は、新入生オリエンテーションで説明します。

助言・指導体制一覧

学部名	名称	間合せ先
人文学部	指導教員制度	人社系学務課（人文学部事務室） 076-445-6138
人間発達科学部	助言教員制度	人社系学務課（人間発達科学部事務室） 076-445-6259
経済学部	指導教員制度	人社系学務課（経済学部事務室） 076-445-6517
理学部	助言教員制度	理工系学務課（理学部事務室） 076-445-6547
医学部	クラス担当 教員制度	医薬系学務課学部教務チーム 076-434-7131 医薬系学務課学生支援チーム 076-434-7130
薬学部	クラス担当 教員制度	医薬系学務課学部教務チーム 076-434-7126 医薬系学務課学生支援チーム 076-434-7130
工学部	助言教員制度	理工系学務課（工学部事務室） 076-445-6701
芸術文化学部	指導教員制度 メンター制度	芸術系総務・学務課学務チーム 0766-25-9130
都市デザイン学部	助言教員制度	理工系学務課（都市デザイン学部事務室） 076-445-6698

2 学生相談室



学生相談室は、入学時から卒業・修了時まで安心して学生生活を送れるよう支援します。例えばこんなときに相談してください。秘密は必ず守ります。

- ・身近な人に相談出来ない。
- ・学業や進路のことで心配なことがある。人間関係で悩んでいる。
- ・大学に行けない。人に会うのが怖い。外に出るのが怖い。
- ・元気が出ない。生きるのがつらい。つい人生の意味を考え込んでしまう。
- ・休学あるいは復学したいけど不安・・・。
- ・生活のトラブルを抱えている。被害を受けて困っている。
- ・〇〇からなかなか抜け出せない。

学生相談室は、必要に応じて（相談者に了解を得てから）学内外の関係者（例えば、保健管理センター、アクセシビリティ・コミュニケーション支援室、就職・キャリア支援センター、学外医療機関等）と連携して、学生生活をサポートします。

また、悩んでいる学生をサポートしている教職員や家族等からの相談も受けます。

直接来室しても、電話でも、メールでも構いません。最寄りの相談室で気軽に相談してください。

	場所	マップ	担当者	専用相談窓口	利用時間
五福	学生会館 1 F (学生支援課内)	B 7	学生生活 相談員	076-445-6148 gakusou-g @ ctg.u-toyama.ac.jp	平日 8 : 30 ~ 17 : 15
杉谷	医薬学図書館 2 F (医薬系学務課内)	U 9		076-415-8810 gakusou-s @ ctg.u-toyama.ac.jp	
高岡	芸術文化学部 A 棟 1 F (芸術系総務・学務課 学務チーム内)	A 棟		0766-25-9210 gakusou-t @ ctg.u-toyama.ac.jp	

メールの返信はすぐにできないことがあるので、急ぎの場合は来談又は電話を利用してください。

3 アクセシビリティ・コミュニケーション支援室

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室には、「トータルコミュニケーション支援部門」と「身体障害学生支援部門」の2つの部門があります。

それぞれの部門で、専任のスタッフが個々の学生の「困りごと」や「問題」に向き合い、それらの解決・解消に向けて支援を行っています。

アクセシビリティ・コミュニケーション支援室	
	トータルコミュニケーション支援部門
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・学修やコミュニケーションに困難を感じている学生 ・発達障害のある学生
支援内容	<p>次のような「困りごと」について、どのようなサポートが必要かを一緒に考えていきます。</p> <p>[困りごと]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曖昧なことが苦手で、急な変化にとまどうことが多く、新しい状況に適應するのに時間がかかる。 ・意識しているのに時間に遅れたり、注意しているのに大事な約束を忘れていたりして、信用を失うことがある。 ・実験や実習等のグループワークで何をすればいいかわからず、孤立してしまう。 ・板書を写す等、文字を書くのに時間がかかり、講義に耳を傾けることが難しい。 ・力の加減をコントロールすることが難しく、手先を使う作業を習得するのに時間がかかる等… <p>[支援・配慮例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点訳、講義資料の電子データ化 ・ノートテイク ・移動介助 ・アクセスしやすい教室への変更 ・実技を伴う体育、実習・実験における配慮等… <p>【学生ピアサポート】 本学では、障害のある学生を同じ大学に通う仲間（在学生）同士で支え合う“学生ピアサポート活動”を行っています。学生ピアサポートに興味がある方からの連絡も待っています。</p>

	場所	マップ	連絡先	利用時間
五福	学生会館 2 F	B 7	076-445-6910 hacs@ctg.u-toyama.ac.jp	平日 9 : 00 ~ 17 : 00

※杉谷キャンパス・高岡キャンパス所属の学生も利用可能です。教職員や家族等からの相談も受けます。まずは電話、メールにて連絡してください。

4 ハラスメント

大学は、ハラスメントのない快適な環境であることが、何よりも大切です。

特に人間関係において、相手に対等な関係と見ることなく、差別したり、打撃を与えたり、性的対象と見て心理的・身体的に傷つけたり、圧迫したりすることは、絶対にあってはならないことです。

言動の受け止め方には、個人間や男女間、立場によっても差があります。一人一人がお互いの人格を尊重しあい、思いやりを持って行動・発言してください。

(1) セクシャル・ハラスメント

誰かがあなたに対して、あなたが望まない性的な言葉を投げかけたり、性的な態度をとったり、性的な接触をしたり、さらに直接的な性行動を強要し、それによってあなたが被害や不利益を被ることを言います。

異性的役割をことさらに強制したり、人格を認めないような呼び方をしたり、公共的な場所や部屋にヌードポスターを貼るようなことも、セクシャル・ハラスメントです。

(2) アカデミック・ハラスメント

教育研究上で、一方的、差別的、あるいは暴力的な指導を受けたりすることで、教員と学生といった一定の関係にある者が、地位・立場・力関係を利用して相手に不利益な行為を強いることを言います。

もし、ハラスメントに関する問題が生じたときには？

●信頼できる人に
相談してみましょう。

●一人で我慢したり、
自分を責める必要は
ありません。

●その場で、
嫌なことは「イヤ！」と
意思表示しましょう。

学生が相談できる各キャンパスの相談員は
次のページのとおりです。気軽に相談してください。

(3) ハラスメント相談員

(令和3年3月現在)

所属	相談員	連絡先
人文学部	池田 真治	076-445-6152
	小野 直子	076-445-6193
人間発達科学部	池田 丈佑	076-445-6370
	千田 恭子	076-445-6304
経済学部	青木 一益	076-445-6493
	柳原佐智子	076-445-6507
理学部	酒徳 昭宏	076-445-6674
	佐藤 杏子	076-445-6628
医学部	木村 裕三	076-434-7470
	新鞍真理子	076-434-7443
薬学部	南部 寿則	076-434-7556
	田淵 明子	076-434-7536
工学部	迫野 昌文	076-445-6845
	森脇 真希	076-445-6858
芸術文化学部	清水 克朗	0766-25-9165
	小田夕香理	0766-25-9205
都市デザイン学部	河野 哲也	076-411-4880
	高柳百合子	076-411-4887
和漢医薬学総合研究所	東田 千尋	076-434-7646
附属病院	北 啓一郎	076-434-7249
	三澤 恵	076-434-7305
保健管理センター	西山志満子	076-445-6911
附属学校	草野 剛	076-445-2803
	竹内 静	076-445-2812

※相談員は追加・交替する場合があります。

詳しくは、事務局の総務部労務管理室（076-445-6012）に問い合わせてください。

富山大学ウェブサイト>教育・学生支援>学生支援>富山大学規則集>
五十音検索>「は」

ハラスメント防止に関する規則

<http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0106103.pdf>

ハラスメント防止・対策に関する指針

<http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0106123.pdf>

